

石炭火力を止めるのはいま！

横須賀 気候マーチ



集合場所
ヴェルニー公園

京急汐入駅から徒歩5分
JR 横須賀駅から徒歩5分

みんなで一緒に参加しよう！



2022. 4. 24 (日)
13:00 集会開始 13:30 マーチ開始

石炭火力を止めるのはいま！

4月24日はみんなで気候マーチへ



現在、地球温暖化による気候変動が深刻化し、世界各地で異常な熱波、豪雨水害、大規模な山火事、干ばつが発生しています。日本でも毎年のように各地で最高気温が更新されたり、100年に1度といわれるような豪雨が頻発するような状況です。多くの生物が絶滅の危機に追い込まれ、陸上や海洋の生態系も激変しています。科学者たちは、地球温暖化は人間活動によるものだと断定し、温室効果ガスを一刻も早く削減し、2050年までに排出をゼロにする必要があると警鐘を鳴らしています。

それにもかかわらず、横須賀市久里浜では、株式会社 JERA（親会社：東京電力・中部電力）による大規模石炭火力発電所（130万kW）の建設が進み、2023年から稼働が予定されています。稼働すれば年間726万トンものCO₂を排出することになります。この量は神奈川県全体の10%に相当し、横須賀市全体の3.8倍に相当する莫大な量です。

人類史上、最も危機的な状況に直面する今、最悪のリスクを回避するためには遅くとも先進国は2030年までにすべての石炭火力を廃止する必要があります。日本政府も2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにすると宣言しました。しかし、その具体的道筋が示されておらず、横須賀の石炭火力発電所の建設を容認しています。

私たちは、地球に住むすべての人々が公平で気候災害ができるだけ回避する社会を望み、将来世代にも大きなツケを残さないような社会を望んでいます。その実現に向けて、気候変動対策の強化と石炭火力の廃止を訴え、横須賀から発信していきたいと思います。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

▶いまさら建設を止められないのでは？

事業者が中止すると判断すれば止められます。地域住民がこの工事を黙認すれば、事業者は中止の判断をしないでしょう。市民が火力発電所の建設中止を求めて声をあげることが重要です。

▶石炭火力がなければ電力不足で停電になってしまうのでは？

石炭火力がなくても省エネルギー・自然エネルギーの拡大で電力を供給できるというシナリオは複数あります。むしろ、ほぼ100%海外からの輸入に依存する化石燃料は、現在価格が高騰しつつあり、今後はエネルギー安定供給上のリスクも高まっていきます。化石燃料から脱却し、自然エネルギーを中心とする電力システムに切り替えることで電力の安定供給と持続可能な社会を両立させることができます。

▶なぜ、いまマーチをするの？

横須賀石炭火力発電所の建設に対しては、それを認めた国を住民たちが提訴し、環境アセスメント手続きの確定通知の取り消しを求めていました。その裁判（東京地裁）の判決がこの夏に出る予定です。市民が石炭火力中止を求めていることを判決前に行動で示すために、今回のマーチを企画しました。

▶なぜ、石炭火力をやめなければならないのか？

石炭火力は火力発電所の中でも最もCO₂の排出が大きく、天然ガス火力の約2倍に相当します。今では太陽光や風力といった自然エネルギーによる発電の実用性・経済性が十分高まっており、化石燃料に頼る必要はありません。

主催：横須賀火力発電所建設を考える会／映画「グレタひとりぼっちの挑戦」よこすか上映実行委員会

連絡先：080-5933-7487（鈴木陸郎）